

1) システムの名称 :

看護支援システム SBS NICE (ナイス)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

8. 看護・介護系 弊社 PrimeKarte または PrimeOrder 稼働が前提

3) 特色 :

■ユーザーに「やさしい」画面配色

ユーザーにとっての「見やすさ」「使いやすさ」を実現するために、専門デザイナーが画面配色を手掛けるなど、ユーザビリティに配慮しています。空床管理画面では、医師から新着のオーダーがあった際、画面ベッド上にて点滅してお知らせします。

■各種サブシステムも充実

看護診断 (NANDA・NICK-NOCK) システム・看護計画システム・褥瘡管理システム・産科支援システムなど、さまざまなオプションシステムを用意しています。これらのオプションは病院の予算・状況により、段階的な導入をすることができます。

■ベッドサイド病務を協力支援

ベッドサイドでの発生源入力を実現するために、ノート PC や PDA など携帯端末を利用します。接続形態は無線 LAN を利用したリアルタイム接続で行います。また、オーダエンタリシステムとの連携で注射や点滴の認証チェックを行うことができます。

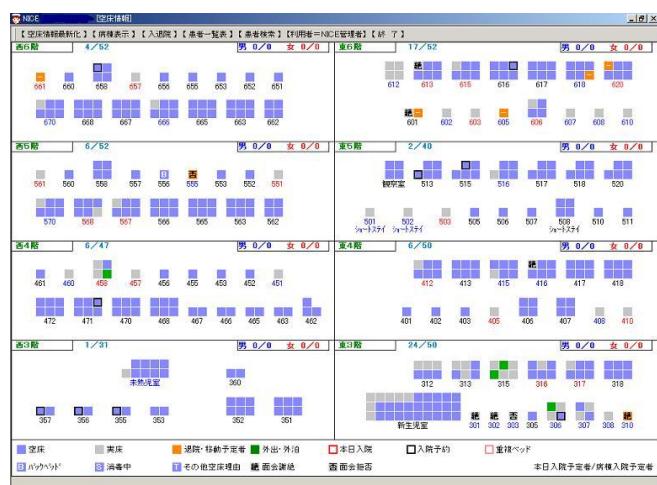
■療養型病院機能を搭載

アセスメント記述やケアプラン作成などの療養型機能を搭載していますので、急性期型・療養型を問わず導入が可能です。

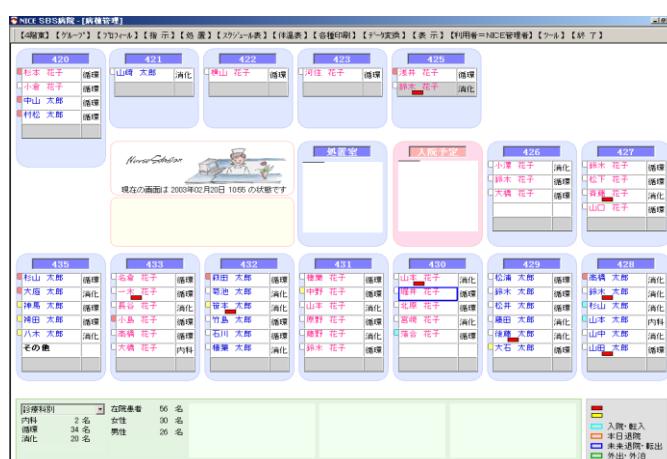
4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

【NICE 画面イメージ】

院内全体画面（右画面）



病棟画面（左画面）

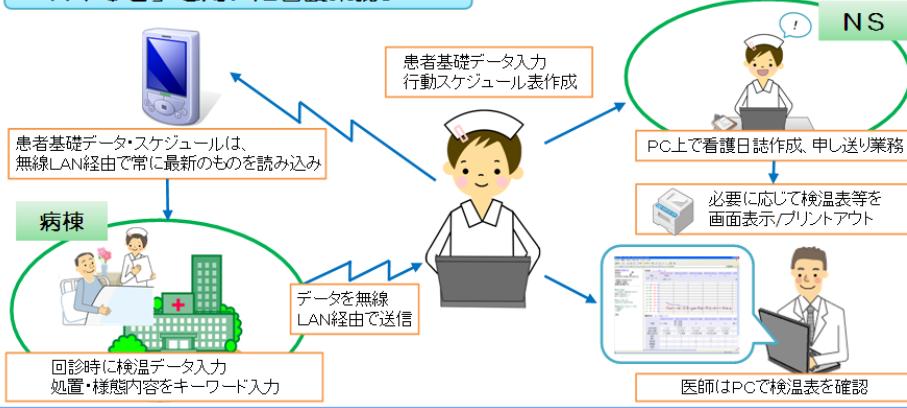


NICE 基本画面

【運用イメージ】

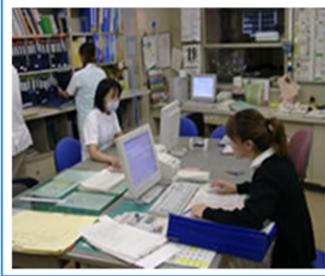


「NICE」を用いた看護業務フロー



メリット

- ・看護業務の効率化
- ・時系列データベース化
- ・検索スピードアップ
- ・転記ミスが少ない
- ・データの集計、加工がしやすい



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

データ交換規約 : HL7 (Ver2.5) / 患者基本(ADT) 各システムとの連携に利用可能
データ交換手法 : TCP/IP ソケット、XML ファイルに対応

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合) :

【サーバ構成】

Windows Server 2003(R) 日本語版以降

【クライアント構成】

Pentium(R) 以上の Intel(R) プロセッサ (Core2Duo 以上を推奨)

Windows(R) XP SP2 日本語版以降

512MB 以上の RAM (1GB 以上を推奨)

7) 稼動までに必要な作業・期間 :

病院担当者様及び部門システムベンダ様との打合せ (仕様の確定まで) ・半年程度

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い) :

500 万円~ (パッケージ費用) + 連携 SES (カスタマイズ費、機器費・交通費除く) (※税別)

9) 保守の内容と費用 :

初期教育 : 看護師向け講習会開催

初期導入保守 : 稼動及び運用開始立会い

遠隔保守 : ルータ及び遠隔監視ソフトによるリモートメンテナンス (電話回線費用は別途)

通常保守 : 月額 3 万円~ (電話等による Q A 対応。サーバの定期監視、障害発生時訪問による交通費除く)
(ハード保守費除く) (※税別)

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もし別途あれば) :

問合せ先 : 株式会社 SBS 情報システム <http://www.sbs-infosys.co.jp>

〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂 3-1-1

TEL : 054-283-1450 ; FAX : 054-284-9182

医療事業本部 営業担当

Mail : iryo@sbs-infosys.co.jp